

— 恵方巻きはもったいない? —

節分の翌日私は、きつと「恵方巻き」の売れ残りが安く売っているに違いないと思い、勇んでスーパーに行ったところ、あてはずれ、陳列棚はまったく平常の商品に戻っていました。その後、ニュースで恵方巻きの売れ残りを大量に廃棄している様を見て、とても残念に思いました。

福を呼ぶとされる、節分の恵方巻きはコンビニ・スーパーに並ぶほど知名度を高めましたが、売れ残りの廃棄処分が問題となっています。実際に廃棄所では、節分当日から恵方巻きや貝材など関連の食材が大量に運び込まれています。その量は普段の2倍のほり、豚の飼料などに変わっているそうです。



恵方巻きは、もともと大阪発祥の風習といわれておりますが、現在では全国各地のコンビニやスーパーに並び、広く認知されています。コンビニやスーパーで売られる場合は工場での大量生産なので、販売在庫や客の入りを見ながらの製造調整は難しく、基本的に店舗の裁量で値下げができない仕組みなのです。そのため、大量に生産せざるを得なく、値下げで在庫を処分することもできず、結局大量廃棄処分となってしまうのです。実は、コン

